

総合科学コース2年 兵庫県立大学体験学習

2018.10.9

総合科学コースの2年生が兵庫県立大学工学部を訪問しました。模擬講義を受講したり、施設見学をするなかで、大学や研究への興味がより一層わいたようでした。キャンパスライフの一端を垣間見ることでもでき、有意義な一日となりました。

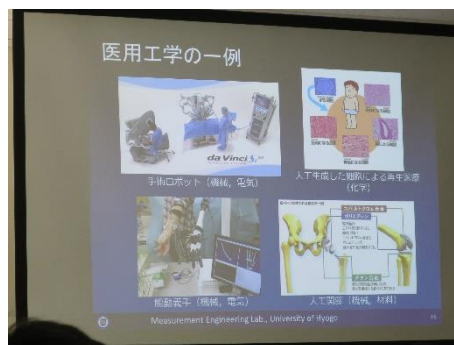
【学部概要説明】	近藤 瑞穂 助教
【模擬講義①】『医用工学とインタフェース』	荒木 望 准教授（機械・材料工学科）
【模擬講義②】『高分子とは？』	遊佐 真一 准教授（応用化学工学科）
【施設見学】	図書館や学生実験室など

<生徒の感想より>

- 「あったらいいモノ」を具現化するのが工学部の役割と知り、進路の選択肢になりそうだった。
- リハビリに役立つ医用工学の将来が気になった。
- “難しいから嫌だ”と思っていたけど、“難しいけど面白い”と興味を持つようになった。
- 砂糖と綿は、性質は全く違うが、炭素Cと水素Hと酸素Oの割合が全く一緒なのにビックリした。
- 高分子は世の中にありふれているのに、その解明から100年も経っていないと聞き驚いた。
- 英語のスライドで難しいと思ったけれど、高分子に興味を持てた。化学の勉強を頑張りたい。



大学での講義を体験しました



医用工学について初めて勉強しました



昼食は食堂で食べました



化学系の学生実験室を見学しました